キャラクター名
吉河 楓佳(ﾖｼｶﾜ ﾌｳｶ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー キュマイラ	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	死	衝動	自傷	初期侵食率	34 %
出自	親戚と疎遠	経験	大きな転機	邂逅	いいひと/谷修成

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	31
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	5		調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き剣(ミドル舐めプ)	白兵	5r+4	5	24		武器データ(4-5、100↓) 作成HP1
赫き剣(100↓)	白兵	5r+4	5	33		武器データ(4-5、100↓) 作成HP10
赫き剣(100↑)	白兵	5r+4	5	38		武器データ(4-5、100↑) 作成HP12
	白兵	7r+4		48		2,6-9(100↓) 攻:23+武器(計算済み)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品	
噂好きの友人	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
パパ(N)	P 懐旧	N 疎外感		
おばあちゃん(P)	P 慈愛	N 不安		
谷修成(N)	P 信頼	N 恐怖		
夢の中の少女(P)	P 純愛	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：ガード値+(Lv)D								
フルパワーアタック	3	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	80↑	
効果：ラウンド中の攻撃力+[Lv*5]、行動値0								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：シーンLv回。戦闘移動（離脱可、接触可、封鎖無視）								
赫き剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：[Lv*2]までHP消費、武器作成								
破壊の血	5	2	赫き剣	至近	自身	自動	ﾘﾐｯﾄ	
効果：赫き剣の攻撃力+[Lv*3]、ガード+5								
ｺﾝｾ：ﾌﾞﾗﾑ=ｽﾄｰｶｰ	2	2	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：C値-Lv								
血の宴	1	3	メジャー	-	範囲(選)	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：対象→範囲（選択）。シナリオLv回								
渇きの主	1	4	メジャー	至近	単体	白兵	-	
効果：装甲無視、[Lv*4]点HP回復								
ブラッドバーン	2	4	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	80↑	
効果：攻撃+[Lv*4]、HP5消費								
ブラッドリーディング	1	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果：血や体液からその主の情報を読み取る。								
効果：								
効果：								
効果：								

【レギュレーション】
◆PLの消費経験点
基本経験点（130）+100点
◆使用環境
とりあえず基本1・2、EA
（他に使用したいサプリなどあれば相談していただければ！）

■PC1用ハント□アウト
ロイス:夢の中の少女 // 推奨感情P:好奇心/N:違和感
君は普通の高校生だ□った。君には最近いつも見る夢か□あった。
大木の下にある社て□、一人の女の子と遊ぶ□夢。
その女の子は奇妙なことに昔話に出てくる鬼のような角か□生えているのだ□。
なんとも非現実的な夢を見なか□らも日常を過こ□す君だ□ったか□、
あるとき君は事故に遭って死んで□しまう。そして君は覚醒した。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

私には物心ついたころから、母親の記憶がなかった。
母親がいないことに疑問も持ってなかった。父子家庭で生きてきたけど、パパはあまり私のほうを見てくれなかった。
小学校３年生の時かな。パパは知らない女の人を家に呼ぶようになった。
子供心に、彼女が出来たんだってわかった。その時からパパは私に露骨に冷たくなった。
今までも私の話を聞いてくれなかったけど、五百円玉なんか握らせて、適当に遊んで来いって。